

未来を拓く科学大好き教育 通信

郷土博物館 特別研究員

指導課 特別指導員

岩波 英一

「理科室のおじさん」を訪ねて

その16 日立市立東小沢小学校



日立理科クラブ
松岡利行さん

日立理科クラブ「理科室のおじさん」の松岡利行さんを訪ねました。松岡さんは、2つの小学校で「理科室のおじさん」をしています。火曜日・水曜日は坂本小学校で、金曜日は東小沢小学校で勤務しています。2つの小学校では児童の数が極端に違って、「理科室での授業の様子等も、大人数と小人数の活動になり、それぞれに長所等があって面白いですね。」と、学校の雰囲気や子どもたちの様子などの違いを話していました。

松岡さんは、三重県・桑名市の出身です。桑名と言えば、「**その手は桑名の焼き蛤**…うまいこと言っても、その手には乗らない」という諺になっているハマグリの名産の場所です。松岡さんも小学生の頃には、潮干狩りで貝をたくさん獲ったということ

です。でも、日立に住んで約50年になり、地元にはなかなか帰る機会がなくなっているとのことでした。桑名の近くには、名古屋や四日市などの工業地帯があって就職ができたので、松岡さんのように茨城県の日立市まで離れて就職したのは、兄弟でも松岡さん一人だったそうです。「就職で日立に赴任するときは、夜行列車に乗って上野まで出て、常磐線の蒸気機関車で日立までやってきました。今は、新幹線や特急で、桑名まで日帰りで行くこともでき、とても便利になりましたね。」と、昔を懐かしんでその



科学のおもちゃ

当時の様子を話していました。

日立工場の重機製造部に所属し、水力機器の管理部門を担当していたとのこと。その当時の同僚から、「理科室のおじさん」の話があり、最初は断っていたようですが、自分の子どもたちが、坂本小学校でお世話になったこともあり、役に立つことがあればとお引き受けしたとのこと。

学校では、「整理・整頓・清掃・清潔」の松岡さんの4Sをモットーに(会社のモットーでもあるそうです)、理科室の環境整備に努力していただいています。「子どもたちは、動く科学のおもちゃが好きですね。でも、わざと動かないように細工をし、子どもたちにどうして動かないのかを気づかせるようにすることもありますよ。」と、子どもたちの科学への好奇心を引き出す工夫を考えているようです。

松岡さんのお子さんたちは、家庭を持って東京等に離れて暮らしているとのこと。「たまに行く、夫婦の温泉めぐりの旅が、息抜きになっていますね。」と、明るい笑顔を見せてくれました。



理科室の天井に恐竜出現

大森教諭の作品

— 問い合わせ先 —

Tel 0294(23)3231 FAX 0294(23)3230

IP 電話 050(5528)4928 内線電話 8954

E-mail:hakubutsukan1@city.hitachi.lg.jp

日立市郷土博物館 岩波 英一